

精神障害者の生活支援システム

	単位数	履修方法	配当学年
科目コード	CU3151	担当教員	阿部 正孝



※平成24年度以降入学者のみが受講できる科目です。

■科目の内容

ここでは精神障害者の支援に関する制度と福祉サービスの知識と内容が述べられています。相談援助活動が精神保健福祉法とどのように関連しているか、その組織や機関などの専門職を理解します。また、地域で生活するための場の確保や、近年大きく変化している障害者の就労・雇用支援の体制とその現状について学びます。

■到達目標

- 1) 国際生活機能分類について、改正の背景と意義を説明できる。
- 2) 精神障害者の生活支援の意義と特徴を説明できる。
- 3) 精神障害者の就労支援に関する制度と施策を説明できる。

■教科書（「■精神保健福祉のサービス」「■精神保健福祉の制度」と共通）

精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編集『改訂新版 精神保健福祉士養成セミナー 6 精神障害者の生活支援—制度・システムとサービス』へるす出版、2014年 第4章

※「■精神保健福祉のサービス」で配本のため、この科目での教科書配本はありません。

（最近の教科書変更時期）2014年4月

■履修登録条件

この科目は「■精神保健福祉のサービス」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をするのみが履修登録できます。

■在宅学習8のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	精神障害者の生活の実際① (第4章)	転換する障害のとらえ方、障害者の実態把握の難しさ、精神障害者の基本的な状況の把握 キーワード：障害者総合支援法	精神障害者の現状や家族支援を理解する。
2	精神障害者の生活の実際② (第4章)	自治体による障害者（保健）福祉に関するアンケート結果から、家族の調査からみえてくること キーワード：支援者、制度	生活支援の理念を考える。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
3	精神障害者の生活の実際③ (第4章)	地域における精神障害者の人権 キーワード：負の側面、偏見・差別、環境整備	精神障害者の人権を考える。
4	精神障害者の居住支援 (第4章)	居住における近年の動向と課題 キーワード：ノーマライゼーション、障害者総合支援法	地域で生活する住居や生活の場の確保を説明できるようにする。
5	精神障害者と雇用・就労① (第4章)	就労支援にかかわる機関と連携 キーワード：障害者の雇用の促進等に関する法律	障害者雇用の制度と労働保険について説明できるようにする。
6	精神障害者と雇用・就労② (第4章)	就労支援の実際 キーワード：障害者総合支援法、就労支援	就労支援の近年の動向を説明できるようにする。
7	精神障害者の生活支援システム① (第4章)	自立と社会参加 キーワード：精神科ソーシャルワーカー	生活支援の基本的な考え方を踏まえ、その意義と特徴について説明できるようにする。
8	精神障害者の生活支援システム② (第4章)	制度としての地域生活支援システム、障害者ケアマネジメント キーワード：地域生活支援事業	生活支援の制度を把握し、精神保健福祉士がそれをどのように活用していくかを考える。

■レポート課題

※課題は1,900字以上、手書き用レポート用紙を使用して記述してください（ワープロ・パソコン印字での提出不可）。

1 単位め	地域移行・地域定着事業について述べ、生活支援を行うにあたっての基本的理念や主な政策を述べなさい。
-------	--

(平成27年度以前履修登録者) 2016年4月よりレポート課題が変更になりました。『レポート課題集 2015』記載の課題でも2017年9月までは提出できますが、できるだけ新しい課題で提出してください。

■アドバイス

レポート作成の留意点

- ①教科書を熟読し、内容を深め理解することに努めて下さい。また、必要に応じ、教科書記載の参考書を読むことにより一層の理解に繋がります。
- ②教科書の内容を写すのではなく、各自の言葉で記載することに努めてください。
- ③参考・引用文献は教科書も含めて3つ以上はレポートに出典明示するようにお願いします。

1 単位め
アドバイス

テキスト4章を読み、精神障害者の統計や実態調査を概観し、あわせて地域生活支援に対する自分の考えも述べるのが求められています。

■科目修了試験 評価基準

- ・『レポート課題集』本科目全体の内容についての理解を問います。
- ・問題の題意に適しているかどうかを問います。
- ・解答字数は、800字以上を基準といたします。

■参考文献

教科書記載の参考図書を読まれることをおすすめします。